

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大牧小】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>&lt;学習上の課題&gt; 国語における「図や表と文章」、算数における「数量関係と図」など、2つ以上の事柄を関連付けることに苦手感をもっている。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 物事を関連付ける学習の基礎的・基本的な事項を丁寧に説明し、習熟につなげる時間が十分に確保されていない。</p>	⇒ 学校課題研修を通して「一斉授業」と「個別最適学習」を意図的に配置した単元構成の研究をする。単元内で「一斉授業」の時間を効果的に配置し、基礎的・基本的事項の確実な定着を図る。【学びの指標アンケート質問⑧「先生が、基本的な内容をわかりやすくしていないに説明してくれる」3.5ポイント以上※昨年度末3.4ポイント】
思考・判断・表現	<p>&lt;学習上の課題&gt; 教師の指示による学習を淡々と進め、自ら思考したり判断したりせず表現している児童が多い。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 学習の方法を児童に任せたり選ばせたりする授業が十分にできていない。</p>	⇒ 学校課題研修を通して「自己調整学習」と「個別最適学習」について研究を進め、授業改善を行う。学年ごとに構成されたメンター・メンティーグループごとに単元開発を行い、課題を解決する方法を児童が自ら選択したり決定したりするような授業実践を積極的に行う。【学びの指標アンケート質問①「授業で解決することを、自分で決めている」3.2ポイント以上※昨年度末3.0ポイント】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語の主語・述語の関係を抑える問題に課題がみられた。回答類型をみると述語の理解ができていないが、述語の直前の言葉を主語と捉えている児童が多い。主語・述語が文章の最も短い形であり、「主語と述語のみで文章が成立する」ということの押さえが十分でなかったことが考えられる。日常会話を聞いていても、主語が曖昧なまま話している児童も多く、自分の考えを端的に伝えることに課題がある傾向も伺える。この問題も一文が長く、文章の読み取りが苦手な児童や主語と述語の関係を意識できていない児童が述語の近くにある言葉の主語と回答してしまったりと考える。文章の読み取りの際に、主語と述語の関係を押さえ直したり、児童同士の交流の中でも主語と述語を意識した会話を意図的に行ったりしていききたい。	
思考・判断・表現	算数の速さをもとめる求める問題に課題がみられた。この問題では、ある地点までの分速とある地点までの分速が同じであるということとは、速さに変化がないため、分速も変わらないという速さの概念を理解できずに、分速と分速を単純に合計してしまうという誤答が多く見られた。授業の中で教師や他の児童と対話しながら学習を進めれば、速さのイメージをもって正しく概念を抑えられる問題だと考える。速さという実感を伴いにくい学習においては、実物を使ったり具体物で操作したりしながら実生活と結び付け、実感を伴った指導をしていく必要がある。速さの学習では、公式に頼り、式の意味を考えずに問題に取り組む児童も多い。式の意味を書かせるたり発表したりする学習を行い、なぜその公式を使ったのかを説明できる児童を育成していく必要がある。	

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	その単元で「つけるべき力」を明確にした授業を行うために、学校課題研究で共有している「単元構想シート」を活用した授業づくりを行っている。特に、「一斉授業」において教師が主導して確実に押さえるべき事項を精選したり、繰り返し確認したりして基礎的・基本的事項の定着の徹底を図っている。	変更なし
思考・判断・表現	B	書籍や文献、動画等から「個別最適学習」についての理論研究を進め、授業実践を始めた。2学期には、教員全員の授業公開や協議を通して、更に授業改善を進める。「児童が自ら学習の目標を設定する」「見直しをもって自分に適した方法で学び方を選んで進める」「自らの学びを振り返る」という、自らの学習を調整しながら学び力を育成している。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)